

タイ国 次世代焼却炉による医療廃棄物適正処理普及・実証事業

株式会社キンセイ産業(群馬県)

タイ国の開発ニーズ

- 技術者及び運用・維持管理費不足等により医療廃棄物焼却炉を稼働できず、医療廃棄物の適正な処理が困難
- 医療廃棄物焼却炉を稼働できたとしても、ダイオキシン等への技術対応が不十分なため、環境汚染の拡大が懸念

普及・実証事業の内容

- プーケット市の中央廃棄物処理センターに乾溜ガス化焼却装置を設置し、同市の医療廃棄物の適正処理を図ると共にその有用性を実証
- 乾溜ガス化焼却装置のタイ全国の自治体への普及

提案企業の技術・製品



乾溜ガス化焼却装置

- 運用・維持管理技術が簡便
- 運用・維持管理費が安価
- ダイオキシン等の環境対応

事業概要

相手国実施機関：プーケット市

事業期間：2016年4月～2018年3月

事業サイト：プーケット市

タイ国側に見込まれる成果

- 医療廃棄物焼却炉の維持管理等の技術移転により、医療廃棄物の適正な処理が実現
- ダイオキシン等による環境汚染の緩和

日本企業側の成果

現状

- 本邦における廃棄物処理需要が減少によるマーケットの縮小

今後

- タイにおける需要を取り込み、(株)キンセイ産業の成長と安定経営が実現。
- (株)キンセイ産業を含むキンセイ会所属企業をはじめ、地元金融機関、大学等への経済的波及効果による地元経済活性化